1．「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション事業

事業期間：R3～7年度

事業類型	ソフト事業
事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	SDGsの考え方を取り入れた「再生可能エネルギーの地産地消」と「次世代農業」と「鳥取型ワーケーション」の取組によるローカルイノベーションの創出と関係人口の拡大
期間中の補助対象経費	86,372千円 (20,145千円) ※カッコ内はR7補助対象経費

SDGs未来都市 鳥取市

実績（R7）

●持続可能な農業経営に向けた取組み
・再エネを活用したスマート農業実装支援（補助金4,884千円）
●都市部から地方への人材確保の取組み
・ワーケーション関連経費（補助金1,539千円）
・地域資源を活用した地域活性化関連経費（補助金613千円）
●持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み
・太陽光パネルリサイクル推進事業（補助金2,000千円）
●上記の取組効果を高める統合的な取組
・情報発信経費（委託料2,948千円、補助金460千円）
・啓発事業等の開催（委託料2,684千円）
・その他関連4事業　（5,017千円）

重要業績評価指標（KPI）

指標（単位）	目標・実績	基準値（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
鳥取市SDGｓ未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数（社）	目標値(累計)	0	15	37	62	87	112
	実績値(累計)	0	15	20	49	62	93
	達成率		100%	54.1%	79.0%	71.3%	83.0%
再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額（千円）	目標値(単年)	–	500	800	1,500	20,000	25,000
	実績値(単年)	–	4,680	10,647	6,474	21,454	20,650
	達成率		936.0%	1330.9%	431.6%	107.3%	82.6%
ワーケーションをきっかけとした移住相談者数（人）	目標値(単年)	–	0	15	25	10	10
	実績値(単年)	–	0	0	0	0	0
	達成率		–	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%





評価コメント（主な成果・課題・今後の方向性）

- 「SDGs未来都市の構想に基づく事業への参画企業数」は、令和7年度に93社となり、目標には届かなかったものの、取組の広がりに伴い着実に増加した。
- 「再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額」は、令和7年度に20,650千円となり、目標には届かなかったものの、5年間の取組を通じて、再生可能エネルギーを活用した農業の実践は着実に進み、持続可能な農業経営に向けた基盤整備が進展した。
- 「ワーケーションをきっかけとした移住相談者数」については、事業期間を通じて直接的な移住相談につなげる点に課題が残ったものの、ラーニングワーケーション（越境学習）等を通じて、都市部の企業・人材と本市との継続的な交流が生まれた。また、参加者が関係人口として本市を継続的に訪問するなど、移住相談者数だけでは捉えきれない成果も得られた。さらに、研修先の市内中学校と参加者の所属企業との交流につながるなど、ワーケーションを起点として、地域・企業・学校等の新たなつながりが創出された。
- 今後は、これまでに築いてきた企業や地域とのつながりを活かし、ワーケーションを単なる「訪問」にとどめることなく、関係人口の創出、地域課題の解決、企業との連携、移住・定住等につながる継続的な関係へと発展させていく。また、自然資本等の地域資源を活用した新たな取組とも連携し、持続可能な地域づくりにつなげていく。